

私

の机には2つの大事な資料が宿っている。1つは、昭和47年の「太陽国体の記念切手とその記念押印スタンプ集」である。当時、市来郵便局に勤務。旧市来町は農芸高校が弓道会場だった。切手販売で多忙の中だったが、一流選手を見て感動した。もう1つは、前年度の国体陸上県予選の青年100メートルに出場し、陸上競技場での最初で最後の1位だった新聞のスクラップ記事だ。優勝の喜びと標準記録未達のために選手されず悔しい思いが半々。今でも鮮明に残る。国体は国民的大イベントのスポーツ大会だ。関係者のご苦労は計り知れないが、3年後の「燃ゆる感動がごしま国体」も県民みんなでおもてなしの心」を持って迎えられたらと思う。

(K・U 東市来町 60代男性)

お便りありがとうございます。

たとえ選考されなかったとはいえ1位になるということは素晴らしいことです。でも、もしかしたら国体という夢の大会に出場できていたかと思うとくやしいかもしれません。忘れられない思い出ですね。私も自分が載った新聞は大切に残しています。私の場合は「黒じよか」ですが、この国体、一流の選手を間近に見れるというのも魅力の1つです。オリンピックに出るような選手が来るかもしれない。そう思うと楽しみですね。

今月のお題～国体の思い出・国体への夢～

45

年前になりますが、高校2年生の時、太陽国体の開会式に風船を飛ばす係で参加する機会がありました。当日は真つ青な空に色とりどりの風船が高く上っていきとてもキレイでした。時折テレビでなつかしい映像が映ると、あの辺にじつと待機して風船の入った箱を開ける前の緊張感を思い出します。「あの頃は若かったなあ」。

(H・Y 日吉町 60代女性)

お便りありがとうございます。

風船が飛んでいく映像は見たことがあります。もしかしたら若かりし頃の自分を見つけることもあるんじゃないでしょうか。かごしま国体でも、ボランティアなどさまざまな関わり方があります。私も何かしらの形で関わろうかと思案中です。

3

人姉弟の内、次女が太陽国体の直前9月25日に生まれました。夫は3歳の長女と私の父を連れて鴨池陸上競技場へ見物に行き、私は家でテレビ観戦。国体の年に生まれた女の子は陽子という名前が多かったと思います。記念になりました。また、この次女が生まれた年は札幌オリンピック、ミュンヘンオリンピックとスポーツの祭典の多い活気ある年でした。次女はスポーツが得意な活発な子に育ち、体育の教師となり今は東京で勤務しています。太陽国体の申し子だったのかなと今は思います。

(リマ・プル・ティガダクン 吹上町 70代女性)

お便りありがとうございます。

「陽子」という名前が多かったんですね。なるほどと思います。体育教師になられたことを思うと、やはり申し子だったのかもしれないね。3年後の国体の年に生まれた子は何て名前が多くなるのでしょうか。

大 阪に来て62年になります。毎月広報を楽しみにしております。初めに見るのが「市民の窓」です。おめでたの場合はうれしくなります。おみやみ場合は長生きされたな〜とか。広報にお願いしたいのは昔から伝わる鹿児島だけの料理の作り方を教えて頂きたいと思います。広報に載せていただければうれしいです。広報の皆さま、お体に気をつけてがんばってください。
(F. I 大阪府 80代女性)

お便りありがとうございます。
遠く大阪から日置市のことを思っていたいただいてありがとうございます。長く鹿児島を離れるとふるさとの味と恋しくなりますよね。またいつか調べて掲載したいと思います。

フリートーク

～日置市お便り板～